

【担当教員名】 福田一雄	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<概要>
言語学Iからさらに掘り進め、言語の単位、構造、社会・文化との関係を考察する。言語の単位として、音声、音韻、語形成、文構造、テキスト（あるいは談話）を取り上げる。社会・文化との関係をハリデー派言語学、語用論、社会言語学の視点から考察する。

<学習目標>
1 言語の単位について考える。
2 言語の構造について考える。
3 言語の持つ社会性について学ぶ。
4 言語と文化の相互関係について学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	言語の単位	日本語の音声、音韻規則について学ぶ。		講義
2	言語の単位	日本語の形態論について学ぶ。		講義
3	言語の単位	日本語の文構造について学ぶ。		講義
4	統語論の諸問題	日本語の統語現象をさらに詳しく学ぶ。		講義
5	会話と含意	語用論、談話分析の考え方を学ぶ。		講義
6	言語の社会・文化性	社会言語学、マクロ語用論の視点から、日本語と日本文化の関係について学ぶ。		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	使用しない			
参考書	授業中に適宜紹介する			
その他の資料				

【評価方法】 出席、受講態度、レポートなどを総合して評価する。	【履修上の留意点】 授業中の質疑応答などにおける積極性を重視する。
------------------------------------	--------------------------------------